

2007 年 12 月 13 日



－プラスチック原料を年間に約 570t 削減－ 弁当の包装形態を“ラップ包装”から『テープ止め』に変更

～北関東・新潟県の店舗より本格展開～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長 最高執行責任者 <COO> 山口 俊郎）は、12 月 17 日（月）よりセブン-イレブンで販売する弁当の包装形態を“ラップ包装”から『テープ止め』に変更してまいります。初めに、茨城県・栃木県・群馬県・新潟県のセブン-イレブン店舗（07 年 11 月末日現在 1,511 店舗）から順次変更し、2008 年 2 月迄にはセブン-イレブン全店（11 月末現在 11,874 店舗）での展開を予定しております。

今回の取り組みは、環境負荷の低減および弁当の見た目や選びやすさの向上を目的に、本年 3 月よりテストを重ねてまいりました。配送中の荷崩れや売場での安定陳列等に対応するため、容器の変更やテープの改善を行った上で、このたびの弁当簡易包装の実現にいたしました。

これにより、プラスチック原料を年間に約 570t 削減することが可能になり、レジ袋に換算すると現使用量の約 5%削減と同等の効果が見込まれることとなります。

セブン-イレブン・ジャパンでは、環境問題対策等の社会的責任を遂行するとともに、安全・安心を第一とした商品開発を推進してまいります。

**<変更前>**

ラップ（フルシュリンクラップ）包装

**<変更後>**

テープ止め のみ

＜新包装形態弁当について＞

| | | |
|---------|--------------------------|--------|
| ◇展開開始日程 | 12月17日（月）茨城県内のセブン-イレブン全店 | 491 店舗 |
| | 12月18日（火）栃木県内のセブン-イレブン全店 | 341 店舗 |
| | 12月19日（水）群馬県内のセブン-イレブン全店 | 342 店舗 |
| | 12月21日（金）新潟県内のセブン-イレブン全店 | 337 店舗 |

（店舗数は11月末現在）

※現在、山梨県・千葉県の一部エリアの合計約370店舗でテスト展開を実施中。
2008年2月迄にセブン-イレブン全店での展開を予定。

◇内 容 弁当の包装形態を、現状の“ラップ（フルシュリンクラップ）包装”から『テープ止め』へ変更

◇目 的 ○環境負荷を低減
○弁当の見易さ、選びやすさとともに、手作り感、できたて感を訴求
○“コンビニ弁当はゴミが多い”というお客様のイメージを改善

◇対応事項 ①**フタや容器（受皿部分）の構造を改良**
⇒フタと容器のかみ合わせ部分の構造を改良し、密閉性を向上。
また、フタと容器を固定するテープの見直しも合わせて実施。

②**弁当容器のフタと底面の形状を変更**
⇒容器のフタと底面に凸凹をつけ、上下がかみ合うようにすることで、
配送効率と売場での陳列を改善。

③**配送時の工夫**
⇒弁当やおにぎり等、弁当配送用ケースへの詰め方を工夫し、
安定感のある配送を実施

※弁当の包装形態変更を機に、販促物の変更も
合わせて実施。色合いを温かみのあるオレンジに
することで、陳列ケースのイメージを統一



◇環境負荷低減

○今回の取り組みにより年間約570tのプラスチック原料を削減
レジ袋5%削減と同一効果に

以 上